

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	計算機インターフェースII	
科目基礎情報							
科目番号	0064		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	情報工学科		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材							
担当教員	栗本 育三郎,吉澤 陽介						
到達目標							
新しい情報入出力装置を設計製作できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	メディアとメッセージを理解できる。		メディアとメッセージをある程度理解できる。		メディアとメッセージを理解ができない。		
評価項目2	キャラクターインターフェースとグラフィカルインターフェースを説明でき、人の機能拡張についてユーザインターフェースの観点から論ずることができる。		キャラクターインターフェースとグラフィカルインターフェースをある程度説明でき、人の機能拡張についてユーザインターフェースの観点からある程度論ずることができる。		キャラクターインターフェースとグラフィカルインターフェースを説明できず、人の機能拡張についてユーザインターフェースの観点から論ずることができない。		
評価項目3	新しいインターフェース機器を設計製作評価できる。		新しいインターフェース機器を設計をある程度書け製作出来る。		新しいインターフェース機器を設計を書けず、製作できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	計算機インターフェースを理解し、自主的に新しい情報入出力装置を考案、設計、製作評価できるようにする。						
授業の進め方・方法	・ メディアとメッセージを理解し、その表現について学ぶ。 ・ キャラクタユーザインターフェースとUNIXならびにインターネットについて学習する。 ・ グラフィカルユーザインターフェース作成例を示し、仮想現実感の観点から実際について学習する。 ・ これまでの学習を応用して様々なインターフェース機器、ソフトウェアを設計、製作する。						
注意点	マウス、ウィンドウ、UNIX、HTMLなどの優れた例に目を留め、その本質を理解するようにすること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	メディアとメッセージ		メディアについて説明できる。		
		2週	メディアとメッセージ		メディアについて説明できる。		
		3週	メディアとメッセージ		メディアの機能拡張との関係を説明できる。		
		4週	キャラクターユーザインターフェース		UNIXのコマンド体系を説明できる。		
		5週	グラフィカルユーザーインターフェース		回転、拡大、縮小を数理で表現できる。		
		6週	グラフィカルユーザーインターフェース		回転、拡大、縮小を数理で表現できる。		
		7週	・ 総合演習		新しい情報入出力装置を考案できる。		
		8週	・ 総合演習 新しい情報入出力装置の考案		新しい情報入出力装置を考案できる。		
	4thQ	9週	・ 総合演習 新しい情報入出力装置の設計		新しい情報入出力装置を考案できる。		
		10週	・ 総合演習 新しい情報入出力装置の設計		新しい情報入出力装置を考案できる。		
		11週	・ 総合演習 新しい情報入出力装置の基本部分の抽出		新しい情報入出力装置を考案し、基本実験計画が書ける。		
		12週	・ 総合演習 新しい情報入出力装置の設計製作		新しい情報入出力装置の設計製作ができる。		
		13週	・ 総合演習 新しい情報入出力装置の基本部分の実験		新しい情報入出力装置の設計製作ができる。		
		14週	・ 総合演習 新しい情報入出力装置の設計製作		新しい情報入出力装置の設計製作ができる。		
		15週	・ 総合演習 新しい情報入出力装置の設計製作		新しい情報入出力装置の設計製作ができる。		
		16週	製作物提出 新しい情報入出力装置の設計製作		新しい情報入出力装置の設計製作ができる。		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	10	0	0	0	10	0	20
専門的能力	50	0	0	0	10	0	60
分野横断的能力	10	0	0	0	10	0	20